



しながわがくげい



令和7年度 3月号
品川学藝幼稚園
園長 関 幸治

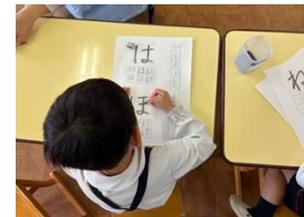
【元気でね・・・】

今年度も残すところ1か月となりました。この一年間、本園の教育活動にお力添えをいただき、誠にありがとうございます。

この時期になると、子どもたちのいろいろな歌声が聞こえてきます。その中でも、年長の子どもたちの歌声を聞くと、「ああ、もうすぐ卒園式なんだな。」と思います。3年間の幼稚園生活も間もなく終わり、それぞれが新しい生活を始めることとなります。今年は幼少連携の取り組みとして、12月には『給食体験』を2月には『授業体験』を行うことができました。どちらも宮前小学校のご厚意で、子どもたちにとってとても良い体験になりました。幼稚園から小学校にあがるときに『小1プロブレム』と言われるものがあります。環境の変化に子どもたちが戸惑ってしまい、小学校生活がうまくスタートできないという問題です。これを克服させるための手立ての一つとして小学校生活の体験を取り入れました。卒園した子どもたちが、スムーズに小学校生活に入ってくると嬉しいです。来年度も宮前小学校のご協力を得られるようにしっかり連携を図っていきたいと思います。

年中の子どもたちも進級に向けてスタートしています。器楽指導もそうですが、平仮名の練習も始まりました。お手本をなぞり、マスの中に書いていきます。なかなか上手に書いているので驚きました。少しずつ少しずつ前に進んでいきます。しっかりやっていってほしいと思っています。

年少の子どもたちも頑張っています。課題の作品作りも丁寧にしっかり色塗りもできるようになってきました。話す中身も要領を得た話し方ができるようになってきました。



誕生会・・・

2月27日（金）今年度最後の誕生会がありました。2月生まれ、3月生まれの子供たちでした。みんなで歌を歌った後、主役の子供たちはお誕生日席に座ります。自己紹介や自分の好きな食べ物や動物の紹介、将来やってみたい職業などみんなの前で話します。その後は教員による出し物があります。今回は大きな絵本を使った読み聞かせでした。

今年度は、4月生まれがいなかったため、5月に1回目（5・6月生まれ）を行いました。

誕生会は毎月行うということではありませんが、保護者の皆様のご協力を得て実施しています。担任

からの出し物は、前述のような読み聞かせあり、ペープサートあり、趣向を凝らしたものを行っています。現在の年中、年少の子どもたちはまた来年経験します。その時にはどんな受け答えができるのでしょうか。そして、教員の出し物はどんなものが出てくるのでしょうか、園長の出演はあるかどうか・・・それは来年までのおたのしみです。



指導のねらい

すみれ組

○進級する喜びと期待をもって生活する。

ばら組

○いろいろな活動に進んで取り組む中で、年長組になることに期待をもつ。

まつ組

○友達に優しさや思いやりをもって接し、1年生になることを楽しみにする。



講師による指導（3月）

器楽指導

渡辺 正明先生

ばら組

英語指導

ロス・ビトナー先生

ばら組 まつ組

○お知らせ

間もなく卒園式を迎えます。

卒園式後、預かりの月極めの園児に限り、16日（月）から登園ができます。卒園児だけの単独でクラス編成ができないので、すみれ組とばら組に分かれて保育活動を行います。

わずかな期間ですが、年少や年中の子どもたちと楽しく過ごしてもらえればと思います。

4月1日（水）からは小学生、スマイルスクールに通うようになるのでしょうか。環境が変わりますが、充実した日々になるよう願っています。

しながわがくけい 3月 弥生(やよい)の短歌

2年ぶりに春一番が吹きました。いよいよ春が近づいてきました。本年度も残り少なくなりました。充実した日々を過ごせるようにしたいと思います。

ながむれば かすめる空の 浮雲と ひとつになれぬ 帰る雁がね（藤原良経）

霞たち 木の芽も春の 雪降れば 花なき里も 花ぞ散りける（紀 貫之）

あしひきの ^{やまかみ}山間照らす 櫻花 この春雨に 散りにけるかも（柿本人麻呂）

三月の 雪ふる夜に だす手紙 ポストのなかは 温かですか（杉崎恒夫）

さんがつの さんさんさびしき 陽をあつめ 卒業してゆく 生徒の背中（俵 万智）



春といえば桜、桜の開花はいつになるでしょうか。卒園式（19日）には間に合わないでしょうが、この桜、いまではすっかり卒業・卒園の花になってしまったようです。